

令和6年度 高松市外郭団体 経営評価シート

1 団体情報

No.	6	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人 高松市国際交流協会		
所在地	香川県高松市番町一丁目11番63号 アイパル香川内						
電話番号	087-837-6003	FAX番号	087-837-6005				
団体ホームページ	https://tia-takamatsu.jp/					所管部局	創造都市推進局 観光交流課 都市交流室
代表者職氏名	理事長 渡邊 智樹			設立年月日	平成2年8月17日 公益財団への移行:平成24年4月1日		
基本財産	30,000	千円	市出資等額(割合)	30,000	千円	(100.0%)	
設立目的	高松市、民間団体等と相互連携を図りながら国際交流事業を効果的、かつ、積極的に推進することにより、高松市の国際都市としての発展に寄与するとともに、世界の人々との相互理解と友好親善を図り、もって市民福祉の向上と多文化共生社会の実現を図る。						
事業概要	(1) 海外の諸都市との国際交流事業の実施 (2) 市民の国際交流活動に対する支援 (3) 国際交流に関する講演、講座、派遣研修等の実施 (4) 留学生、研修生等在住外国人に対する支援 (5) 国際交流に関する情報の収集及び提供						
評価対象決算期	令和6年4月1日			～	令和7年3月31日		

2 組織の状況(4月1日現在※令和6年度は6月末現在)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
役員数(非常勤含む)	12 人	12 人	12 人
うち市派遣(兼務含む)	2 人	2 人	2 人
うち市退職者	1 人	1 人	1 人
役員平均年間報酬	3,632 千円	3,632 千円	3,420 千円
職員数(非常勤含む)	4 人	4 人	4 人
うち市派遣(兼務含む)	0 人	0 人	0 人
うち市退職者	0 人	0 人	0 人
職員平均年間報酬	2,701 千円	2,281 千円	2,104 千円

3 主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和6年度事業費
姉妹・友好都市等との交流関係事業	本市の姉妹・友好都市の3都市へ親善研修生、親善訪問団等の派遣事業を行うとともに、姉妹・友好都市をはじめとする諸外国からの訪問者と市民が、相互理解、友好親善を深めるための支援を行う。	2,021 千円
多文化共生推進事業	市内に在住する外国人を支援するとともに、市民が、外国人と触れ合えるような各種国際交流活動を促進する。	3,605 千円

4 市の財政的関与の状況

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
補助金	2,526 千円	2,814 千円	1,608 千円
委託料	0 千円	0 千円	0 千円
うち指定管理料	0 千円	0 千円	0 千円
その他	0 千円	0 千円	0 千円

5 財務状況

①正味財産増減計算書

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
経常収益	8,323 千円	8,551 千円	5,654 千円
経常費用	27,807 千円	24,974 千円	19,951 千円
当期経常増減額	△ 19,484 千円	△ 16,423 千円	△ 14,297 千円
経常外収益	0 千円	0 千円	0 千円
経常外費用	0 千円	0 千円	0 千円
当期経常外増減額	0 千円	0 千円	0 千円
当期一般正味財産増減額	△ 34,402 千円	△ 23,310 千円	△ 21,526 千円
当期特定正味財産増減額	0 千円	0 千円	0 千円
当期正味財産増減額合計	△ 34,402 千円	△ 23,310 千円	△ 21,526 千円

※四捨五入の関係上、千円でずれる場合があります。

②貸借対照表

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
流動資産	4,664 千円	3,954 千円	9,420 千円
固定資産	323,626 千円	358,730 千円	375,685 千円
資産計	328,290 千円	362,684 千円	385,105 千円
流動負債	1,654 千円	1,645 千円	755 千円
固定負債	0 千円	0 千円	0 千円
負債計	1,654 千円	1,645 千円	755 千円
指定正味財産	30,000 千円	30,000 千円	30,000 千円
一般正味財産	296,637 千円	331,039 千円	354,349 千円
正味財産計	326,637 千円	361,039 千円	384,349 千円

※四捨五入の関係上、千円でずれる場合があります。

<主な経営指標>

区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
流動比率 (流動資産÷流動負債)	282.0 %	240.4 %	1,247.7 %
自己資本比率 (正味財産計÷負債・正味財産)	99.5 %	99.5 %	99.8 %

6 経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管課による評価
①公益的使命・市が期待する役割への対応	市民レベルの国際交流の推進と多文化共生社会の実現に向けた、海外派遣事業や外国文化紹介事業、日本語学習支援事業などの事業を通して、市が掲げる「人がつどい未来に躍動する世界都市・高松」の推進に大きく貢献している。	国際化の進展により、異なる文化や習慣を理解し、尊重し合える市民の国際感覚の涵養や多文化共生への理解が求められており、国際交流推進事業及び多文化共生推進事業等を実施する当協会は、本市の施策に大きく貢献している。
②業務・組織管理	担当業務の見直しを実施し、各職員の業務量が均等になるよう改善した。また、給与においても、本市会計年度任用職員の同様の職務を担う職員と同額となるよう見直すなど、安定して適切に業務に取り組めるよう勤務環境を整えた。	各職員の業務量を調整するなど、業務の見直しにも取り組んでおり、職員の給与も適宜、適切に見直しを行うなど、職務環境の健全化にも努めている。
③財務状況	市からの補助金に加え、他団体からの助成金や、事業ごとに協賛企業を募り、協賛金を確保するなど、財源の確保に取り組んできた。今後も寄付金の募集等あらゆる方法での財源確保に努めていく。	市からの補助金や助成金を活用し、事業に取り組んでいるものの、毎年、自己財源を取り崩している状況であり、今後新たな財源確保策を検討されたい。
④今後の方向性及び課題	旅費等の高騰など経費の増加により、今後の事業の継続が困難になっていくことが予想されるが、本市の国際交流の灯を絶やさぬよう、長期的な視点で事業内容を見直し、今後も各種事業が継続できるよう努めていきたい。	世界的な燃料費の高騰や、円安の進展などにより、海外渡航費が高額となっており、親善研修生の海外派遣などを行う親善研修生の派遣に伴う費用などが増加している。新たな財源確保策や、事業の見直しなどの検討が必要である。

【再掲】各指標の推移

